

地域を守る防災のソフト対策を学びたい!

地元の子育て支援に力を入れている特定非営利活動法人(NPO法人)に参加して、商店街を舞台に子どもたちと忍者ごっこをしたり、公園の中を小さな町に見立ててそこで使える通貨で遊んだり、地域と深く関わりながら、実際の生活とも結びつきがある遊びをする中で、「普段は何気なく過ごしている町も、いろいろと考えてつくられているんだ」と気付きました。そして、高校2年生の時に起こったのが、広島市内の住宅地を襲った大規模な土砂災害。自然の猛威を身近に感じて、被害を最小限に食い止めるにはどんな備えをしておけばいいかと考えるようになり、将来は、防災のソフト対策に関わる仕事に就きたいと思って鳥大工学部を志望しました。

3年生の夏休み前に、NPOでの活動をPRできるAO入試で受験しようを決め、翌日から準備に取り掛かりました。志望理由書などの用紙は表裏白紙なので、最初はどれくらい書いたらいいのか分かりませんでしたが、要点をできるだけまとめて書くように気を付けました。あとは、自分の強みや弱み、地元の町を歩いて気付いたことをメモするようにしました。

学校以外の活動にも興味を持って参加しよう!

「講義等理解力試験」では、話を聞きながらメモを取って要点を抑えるように気を付けました。講義の内容が興味深くて、いつも以上に集中できた気がします。「小論文」は過去問を解いて添削してもらったり、知らなかったことはインターネットや本で調べました。「個人面接」では、NPOでの活動や、最近気になっているニュースの内容などについて聞かれました。高校の先生と面接練習していたので、3年間の経験や自分の考えをしっかりと伝えることができたと思います。

AO入試は準備することが多い試験。小論文や面接も早めに練習しておきましょう。ちょっとしたことでメモしておく、面接などで使える場面があるかもしれません。私は、アピールしたいと思う活動をしていたことがAO入試に役立ったなと思っています。学校の活動を頑張るのもすごく大事なことだけど、それ以外にも自分が興味を持ったことは参加してみるのもいいと思います。



(ながはら ゆみ)

3年 長原 由実 さん

広島県立呉宮原高等学校出身

MY FAVORITE
TOTTORI



ゆったりした空気感

時間に追われてせかせかしている感じがなく、ゆったりと時間が流れている空気感が好きですね。星空もきれいで、入学した頃はよく星を見に鳥取砂丘まで友達と歩いて行っていました。

平成30年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

平成30年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成31年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

講義等理解力試験	講師(1名)が、本学科の教育内容や研究内容に関する講義(60分)を行い、その後、講義内容に関する筆記試験(60分)を行いました。
小論文	近年の外国人観光客の増加に伴い、観光先進国の実現に向けて政府や地方自治体を実施する取り組み、ならびに、観光の発展のための制度・施設・サービスの整備における課題や問題とそれに取り組む方法について、自分の知っていることや自分の考えを、60分間で論述するものでした(800字以内)。
個人面接	5名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	5名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

□ 選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(講義等理解力試験)	○	○	
2次(小論文)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	